人工股関節置換(THA)の手術を受けられる患者さんへ(2日前入院)

患者ID
氏名

担当医
担当看護師
配布日

	入院:1病日	2病日	3病日	4病日	5病日	6病日	7~9病日	10~16病日	17~18病日:退院	
	手術2日前	手術1日前	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4~6日目	手術後7~13日目	手術後14~15日目
達成目標	・手術の経過について理解できる		・循環動態が安定している		・離床ができる		・創部の浸出液、発赤などの感染徴候がない ・38.0度以上の発熱がない		・退院指導の内容を理解できる	
	・転倒予防行動について理解し実施できる ・痛みによる苦痛がない		・禁忌肢位(股関節を反対側の足に近づける内転、ひざを外側に向ける外旋)をとらない ・腓骨神経麻痺の症状がない(下垂足がない、背屈ができる) ・脱臼の症状がない ・足のしびれ、腫脹がない							
内服	・薬剤師が、持参薬及び服薬状況について確認します			・痛み止めを1日3回、毎食後に内服します(7日間)						
手術			手術	・貯血をした場合は、自己血を輸血します						
注射	・点滴をします			・点滴を抜きます						
検査	・採血 ・レントゲン ・身長・体重測定		・採血 ・レントゲン	・採血	・採血(手術後4日目) ・採血/レントゲン(手術後7日目)		・採血/レントゲン(手術後14日目) ・体重測定(退院日)			
処置			・弾性ストッキングを着用します	・フットポンプをつけます				・フットポンプを外します		
				・手術室で尿の管を入れます	・尿の管を抜きます					
				・手術室で創部にドレーン(管)を入れます	・ドレーンを抜きます			・創部の確認をします		
				・大腿部の圧迫のためブレパツを装着します	・ブレパツを脱ぎます					
				・心電図、酸素飽和度モニターをつけます	・心電図、酸素飽和度モニターを外します					
食事	・制限はありません	・夕食後は、指示された時間から、飲食はできません	・飲食はできません	・絶食です。医師の指示後、飲水できます		・朝食(常食)から開始となります		・制限はありません		
活動・安静	制限はありません		・病棟内でお過ごしください	・ベッド上で安静ですが、看護師の介助で横向きになれます ・排便はベッド上で行いますのでナースコールでお知らせください		・ベッド上で頭元を上げ座位になります。リクライニング操作は看護師が行いますので、ナースコールでお知らせください		・ドレーン抜後は歩行器を使用し歩行ができます ・初めて歩くときは看護師が付き添いますので、ナースコールでお知らせください		・制限はありません
清潔	・制限はありません	・シャワー浴をしてください	・洗面、歯磨きを済ませてください	・歯磨き、顔拭きを介助します	・身体を拭きます	・シャワー浴ができます				
リハビリ					・リハビリテーションが始まります					
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が治療の説明をします ・手術室の看護師が、手術に伴う確認や諸説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・転倒・転落予防について説明します ・術前オリエンテーションを行います ・深部静脈血栓症の予防について説明します		・手術後、医師が説明をします		・「股関節の手術を受けられた患者さんへ」のパンフレットを用いて、退院後の生活について説明します					
その他	・同意書は職員にお渡しください ・手足の爪を切り、マニキュアは落としてください ・化粧は落としてください ・深呼吸、床上運動、床上排泄などの術前訓練をします ・手術に必要な物品を確認します 【必要物品】 ・T字帯1枚・平オムツ1枚 ・曲がるストロー又は薬のみ ・スプーンやフォーク(必要時) ・リハビリテーションで着用するズボンや靴		・手術衣に着替えます ・義歯、コンタクトレンズ、時計、アクセサリー等は外し、各自保管してください。メガネと補聴器は必要時、手術室までつけていきます ・貴重品は、ご自身又はご家族で管理してください ・ご家族は2階デイルーム・面談室で待機してください。場所を移動される時は必ず職員へお声掛けください		・深部静脈血栓症を予防するため、足首の反り返しを行ってください					
	・痛みがあれば鎮痛剤を使用しますので、我慢せずにお知らせください									

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。